

令和3年度 地域貢献事業(災害時連携体制構築)事業報告

1. 事業の目的

植木地区で水害等災害が発生した時の支援体制について地域住民と共に協議していく。そして、災害が起きた時の対応方法についても検討していき避難活動が速やかに行えるように災害時の連携体制の構築に向けて取り組んでいく。さらに、地域高齢者が安心して暮らせる地域作りを自治会や行政と協同しながら支援していく。

2. 活動内容

- (1) 協議時期 2ヶ月に1回の植木会議(生活体制連携会議)にて協議していく。
- (2) 協議場所 植木自治会館2階
- (3) 参加者 地域住民 自治会 植木クラブ 地域包括 社会福祉協議会
しかまの里 管理者(施設長、副施設長、事務長補佐)
地域連携リーダー

3. 対応職員

管理者(施設長、副施設長、事務長補佐) 地域連携リーダー

4. 活動内容

- (1) 植木会議(生活体制連携会議)にて地域の一人暮らし高齢者の把握や避難方法の確認等を行っていき、災害発生時に速やかに避難が行えるように打ち合わせをしていく。又、それに備えて地域での炊き出し等もどのように行えるのかを検討していく。
- (2) 年に1回の防災訓練にも参加していき、避難時の車椅子操作方法や緊急時対応等を指導していく。

5. 活動実績

通常は植木会議(生活体制連携会議)にて災害対策の打ち合わせをしていましたが、今年も同様にコロナの影響から、会議の開催自体が中止となっています。又、植木自治会議の体制の変化があり、任期を2年として全ての役員さんが2年ごとに変わる体制となりました。そのことから、植木会議の活動自体の継続が難しくなっています。しかし、高浜連合地区としては定期的に防災訓練が充実して行えているので、10月31日には感染防止対策をとりながら、防災訓練を行い、しかまの里も救急処置の仕方を地

域住民の方に教育しました。今後は地域を高浜連合地区との連携に焦点を置き、地域との連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひます。